

鉛筆削り WP-130N 芯がとり出せない場合の対処方法

 <p>千枚通し</p>	<p>用意するもの：千枚通しや針金など 先端が細いもの</p> <p>カッターナイフの刃や竹串など、折れたり欠けたりする材質のものは使わないでください。怪我の原因となります。</p>
 <p>画像では判りやすいよう鉛筆と芯を赤く着色しています</p> <p>芯先窓</p>	<p><b>**手順**</b></p> <p><b>1：屑受けを外し内部メカを確認してください。</b>  <b>ハンドルを回して、右図の様にカッター部の「芯が見える位置」で止めてください。</b></p> <p>カッター部先端の芯先窓をご確認ください。          (詰まった芯は鈍く光るので、部品の色と見分けが付きにくい場合があります。よくご確認ください。)</p>
	<p><b>2：左図の芯先窓をよく見て鉛筆芯の先端を千枚通しや針金等で出口方向へ押し、取り除いてください。</b></p> <p><b>**芯の柔らかい鉛筆（2B以上）や色鉛筆などはゆっくりハンドルを回して削ってくださいませお願い致します。</b>          削っていない鉛筆でもまれに中で芯が折れているものがございます。削っているうちに芯が詰まる事がありますので、上記方法で取り出してご使用下さい。</p>
	<p>うまく取り出せない場合、弊社へお送りいただきましたら、除去しお戻しいたします。          当方への送料だけご負担ください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>プラス(株)ステーショナリーカンパニー              お問い合わせセンター WP-130N修復係              〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28              虎ノ門タワーズオフィス12F              0120-000-007</p> </div>